

- 問1 聖武天皇が「大仏造立の詔（みことのり）」を出した目的と、その後の社会への影響について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）
1. 仏教の力で社会の不安を払拭しようと考へ、国家的な大事業を通じて中央集権体制の強化を図った。
 2. 遣唐使を廃止して日本独自の文化を発展させるため、大陸の影響を受けない巨大な建造物を計画した。
 3. 班田収授法を廃止して私有地を認める代わりに、農民から寄付を募って寺院を建立させた。
 4. 蘇氏などの有力豪族の勢力を抑えるため、天皇自らが僧侶となって政治の全権を握ることを宣言した。
- 問2 奈良時代、人口の増加によって公地公民の原則に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自らのものにするを認める法令の名称を答えなさい。（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 墾田永年私財法
 2. 三世一身の法
 3. 班田収授の法
 4. 公地公民の制
- 問3 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものと正しいものを選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
1. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。
 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。
 3. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。
 4. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。
- 問4 奈良時代の東大寺の大仏造立に関する記述として、当時の資源供給の背景を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）
1. 現在の山口県にある長登銅山から産出された銅が、大仏の主要な原料として使用された。
 2. 朝鮮半島から輸入された大量の銅を主原料として、最新の渡来技術によって造られた。
 3. 天武天皇が全国の豪族に命じて、各家庭に眠っていた銅製品を回収して原料とした。
 4. 聖徳太子が飛鳥寺を建立した際の余った銅を、平城京まで運んで再利用した。
- 問5 奈良時代、聖武天皇の招きに応じて唐から日本へ渡ろうとし、5度の失敗と失明を乗り越えて来日を果たした僧侶は誰ですか。両目を閉じ、静かに座った姿の彫像が安置されている、彼が建立した唐招提寺の歴史的背景をもとに答えなさい。（2025年 島根公立入試 類似）
1. 鑑真
 2. 行基
 3. 道鏡
 4. 空海
- 問6 奈良時代、聖武天皇は社会の混乱を鎮めるため、仏教の力で国家の安泰をはかろうとしました。この考え方を何といいますか。（2015年 佐賀公立入試 類似）
1. 鎮護国家
 2. 律令政治
 3. 神仏習合
 4. 天平文化
- 問7 律令制における税制度のうち、「調」が当時の人々に与えた影響やその仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 口分田の面積に応じて課されたため、土地を持っていない者は免除された。
 2. 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。
 3. 地方の特産物を現地の役所に預けるだけで完了したため、都へ行く必要はなかった。
 4. 成年女子に対してのみ課された税であり、布を織って納めることが一般的であった。
- 問8 奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集であり、天皇や貴族といった特権階級だけでなく、防人（さきもり）や農民といった庶民の歌まで幅広く収められている作品として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）
1. 万葉集
 2. 古今和歌集
 3. 日本書紀
 4. 風土記
- 問9 律令時代の政治体制において、地方を統治するために中央から派遣された「国司」の説明として、その役割と背景を正しく述べているものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 中央政府から派遣され、現地の有力豪族が任命された郡司を指揮して、地方の行政・司法・徴税を司った。
 2. 鎌倉幕府によって国ごとに設置され、主に軍事や警察の役割を担い、国内の武士を統制した。
 3. 荘園や公領の管理のために幕府から任命され、年貢の徴収や土地の管理、治安維持を行った。
 4. 明治維新後の廃藩置県により、中央政府から各県に派遣されて地方行政の最高責任者となった。
- 問10 奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃杯（るりのつき）」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）
1. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面
 2. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面
 3. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面
 4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面
- 問11 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。（2020年 鳥取公立入試 類似）
1. 大伴家持
 2. 紀貫之
 3. 藤原定家
 4. 山上憶良
- 問12 班田収授法において、与えられた「口分田」をその人が亡くなった際に必ず国へ返還させると定められた、最も大きな理由として考えられるものはどれですか。（2023年 愛媛公立入試 類似）
1. すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。
 2. 農民に土地を私有させることで、特定の有力者に土地が集中し、国家が税を取れなくなるのを防ぐため。
 3. 墾田永年私財法によって私有地が増えすぎたため、国家が土地を強制的に回収して再分配する必要があったため。
 4. 六歳以上の子供に均等に土地を分ける際、土地が不足しないよう常に空き地を確保しておく必要があったため。
- 問13 律令制に基づき地方に派遣された「国司」の役割について、その内容として正しいものはどれですか。（2026年 長野公立入試 類似）
1. 中央政府の代表として、派遣された土地で徴税や裁判などの地方行政を統括する役割
 2. 地方の有力豪族が任命され、国司の指示を受けながら郡レベルの行政実務を行う役割
 3. 九州北部の防衛や外国との交渉を専門に担当し、地方行政から独立した組織を運営する役割
 4. 地方の治安維持のみを専門に行い、行政や徴税には関与しない軍事的な役割

答え合わせ・解説

問1	答え 1 仏教の力で社会の不安を払拭しようと考え、国家的な大事業を通じて中央集権体制の強化を図った。	聖武天皇は、地震や天然痘の流行といった国難を仏教の信仰によって乗り越えようとしてきました。この巨大プロジェクトには膨大な労働力と物資が投入され、山口県の長登銅山から銅を運ぶなど、全国規模の協力体制が敷かれることで、天皇を中心とする国家体制が象徴されました。
問2	答え 1 墾田永年私財法	人口増加に伴う土地不足を解消するため、政府は723年に「三世一身の法」を出して三世代にわたる私有を認めましたが、期限が近づくと土地が荒廃するという問題が生じました。そこで743年にこの「墾田永年私財法」を制定し、開墾した土地を期限なく永久に私有財産にすることを認め、農地の拡大を図りました。
問3	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の高度な文化や仏教の影響を強く受けています。当時の唐は西アジアなどとも交流があったため、正倉院の宝物にはペルシャ風の意匠が見られるなど、国際色豊かな（国際性豊かな）文化であったことが特徴です。一方で、国風文化は平安時代中期以降、水墨画などの文化は室町時代以降の特色であるため混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 現在の山口県にある長登銅山から産出された銅が、大仏の主要な原料として使用された。	山口県的美祢市にある長登銅山跡からは、奈良時代の製錬遺構や木簡が見つかっており、ここから産出された銅が東大寺の大仏の原料となったことが科学的な分析によっても裏付けられています。大規模な大仏の造立には、地方からの資源供給が不可欠でした。
問5	答え 1 鑑真	鑑真は唐の時代の高僧で、日本の仏教の秩序を整えるために必要な「戒律」を伝える目的で来日しました。当時の航海は命がけであり、何度も遭難を繰り返して視力を失いましたが、不屈の精神で来日を成功させました。平城京に唐招提寺を建立し、日本の仏教の発展に大きく貢献しました。
問6	答え 1 鎮護国家	奈良時代の中頃、天然痘の流行や政治的な対立による反乱が相次ぎ、社会が不安定になりました。聖武天皇は、仏教の教えによってこれらの災いから国を守り、平和をもたらそうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国的な仏教政策を推し進めました。
問7	答え 2 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。	調は成年男子（正丁・中男）に課せられた税です。単に産物を納めるだけでなく、遠方の都まで自分の足で運び、往復の食料も自分で用意しなければなりません。この過酷な負担から逃れるために、戸籍を偽って「女」として登録する「偽籍（ぎせき）」などの行為が広がる原因の一つとなりました。なお、土地の面積に応じて課されたのは「租」です。
問8	答え 1 万葉集	奈良時代の文化を代表するこの作品には、約4500首もの和歌が収録されています。編纂には大伴家持が深く関わったとされ、当時の人々の素朴で力強い感情が、漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」を用いて記されています。特に、遠く九州の警備に赴いた人々による「防人の歌」などは、当時の民衆の暮らしや心情を知る貴重な史料となっています。
問9	答え 1 中央政府から派遣され、現地の有力豪族が任命された郡司を指揮して、地方の行政・司法・徴税を司った。	律令制における地方統治は、中央から派遣される「国司」と、地元の有力者が任命される「郡司」の二段構えになっていました。国司は中央の意向を地方に反映させる役割を担い、実務に詳しい郡司を指揮することで統治の安定を図りました。他の選択肢は、時代が異なる守護（鎌倉時代）、地頭（鎌倉時代）、県令（明治時代）の説明です。
問10	答え 1 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面	正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が納められていますが、そこには唐の製品だけでなく、ペルシャ（イラン）など西アジアに由来する意匠や技法を用いた宝物が含まれています。これは、当時の日本が唐を中心とした国際交流ネットワークの中に組み込まれており、世界各地の文化が流入していたことを示しています。選択肢にある国風文化や浄土信仰に基づく建築などは、のちの平安時代の特色です。
問11	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問12	答え 1 すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。	班田収授法は、土地は国家からの貸与品であるという立場をとっています。一代限りの貸与とすることで、土地が世襲されて私有地化するのを防ぎ、国が直接人民から租税を徴収し続ける体制を維持しようとした。しかし、のちには人口増加による土地不足や、農民が負担に耐えかねて逃亡するなどの問題が生じ、この制度は行き詰まることとなります。
問13	答え 1 中央政府の代表として、派遣された土地で徴税や裁判などの地方行政を統括する役割	国司は、都から派遣されて地方行政の全般を担う最高責任者でした。主な仕事は、戸籍の作成やそれに基づく口分田の班給、租・庸・調といった税の徴収、さらには裁判など多岐にわたります。これにより、中央の律令政府は全国に法と秩序を及ぼそうとしました。選択肢にある「地方の有力豪族が任命された」のは郡司であり、「九州北部の防衛」を担当したのは主に防人や太宰府の役人です。